

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画（その3）（重点計画）（防災・安全）										
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）	交付対象	泉佐野市								
計画の目標	・下水道整備を計画的に行い、市民にとって災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。										
番号	計画の成果目標（定量的指標）										
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値									
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)	備考						
1	・下水道による都市浸水対策の達成率を15.7%（R2年度当初）から15.9%（R6年度末）に増加させる。 都市浸水対策達成率（%） = 整備済み面積（ha） / 整備対象全体面積（ha） ※整備計画対象全体面積：2,785ha（下水道全体計画面積）	15.70%	15.80%	15.90%	計画						
2	・中央ポンプ場の長寿命化対策により、既設ポンプ設備6台の改築実施率を66.7%（R2年度当初）から100%（R6年度末）に増加させる。 泉佐野市中央ポンプ場（ポンプ設備台数：6台）の老朽化している設備の改築実施率（%） = 改築済みポンプ設備数（施設） / 改築が必要なポンプ設備数（施設）	66.70%	100.00%	100.00%	計画						
3	・中央ポンプ場の長寿命化対策により、水処理設備他8件の改築実施率を0%（R2年度当初）から100%（R6年度末）に増加させる。 泉佐野市中央ポンプ場（水処理設備他8件）の老朽化している設備の改築実施率（%） = 改築済み水処理設備数（施設） / 改築が必要な水処理設備数（施設）	0.00%	40.00%	100.00%	計画						
全体事業費	計画 実績	合計 (A+B+C)	3,351百万円 2,189.7百万円	A	3,351百万円 2,189.7百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	- -

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	令和8年1月
泉佐野市において策定した「事後評価方針」に基づき、令和7年12月9日の上下水道局内審議において定量的指標の達成状況、事業効果の発現状況などを検証するとともに、令和8年1月6日～令和8年1月26日までの間、パブリックコメントを実施し、第三者の意見を広く求めることにより、今後の整備方針を検討することとした。	公表の方法
	泉佐野市のホームページ上で公表

1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											R02	R03	R04	R05	R06		
A07-001	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	管渠(雨水)	新設	湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業	雨水管φ=350～1000mm、L=0.9km、実施設計	泉佐野市	■	■	■	■	■	844.0	計画
A07-002	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	ポンプ場	改築	湾岸中部処理区 中央ポンプ場長寿命化対策	雨水ポンプ設備 N=2台	泉佐野市	■	■	■	■	■	448.0	計画
A07-003	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	ポンプ場	改築	湾岸中部処理区 中央ポンプ場第2期長寿命化対策	水処理設備他8件	泉佐野市	■	■	■	■	■	2,059.0	計画
合計															3,351.0	計画	
合計															2,189.7	実施	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											R02	R03	R04	R05	R06		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計															-	-	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											R02	R03	R04	R05	R06		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計															-	-	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道による都市浸水対策達成率を15.7%（R2年度末）から15.8%（R6年度末）に増加させたことにより、浸水被害の軽減に繋がり、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができた。 ・中央ポンプ場の長寿命化対策計画に基づき、老朽化し改築更新が必要な残り2台のポンプ設備について計画どおり改築更新工事を行ったことにより、浸水対策機能の維持と地震時等の災害時における機能の確保を図ることができた。 ・国土交通省の方針に基づき、ストックマネジメント計画を策定したことにより、老朽化し改築更新が必要な水処理設備・電気設備・耐震補強について計画どおり改築更新工事を行うことにより、浸水対策機能の維持と地震時等の災害時における機能の確保を図ることができた。

II 定量的指標の達成状況					
指標① 都市浸水対策達成率	最終目標値	15.90%	目標値と実績値 に差が出た要因	本整備計画対象事業のほか、浸水対策に必要な事業として市単独事業など他の整備すべき路線整備を進めましたが、令和6年度工事の施工現場の土質条件が非常に悪く工期の遅延が生じたことにより、目標値を上回ることができなかった。 【目標値の算出根拠】 441.56ha ÷ 2,785ha × 100 = 15.9% 【実績値の算出根拠】 440.78ha ÷ 2,785ha × 100 = 15.8%	
	最終実績値	15.80%			
	指標② 中央ポンプ場の老朽化している設備の改築実施率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画どおり改築更新事業を実施 【目標値の算出根拠】 2台 ÷ 2台 × 100 = 100% 【実績値の算出根拠】 2台 ÷ 2台 × 100 = 100%
		最終実績値	100.00%		
	指標③ 中央ポンプ場の老朽化している設備の改築実施率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画どおり改築更新事業を実施しましたが、中央ポンプ場施設内の設備更新スケジュールに遅延が生じたことなどにより、目標値を上回ることができなかった。 【目標値の算出根拠】 8件 ÷ 8件 × 100 = 100.0% 【実績値の算出根拠】 7件 ÷ 8件 × 100 = 87.5%
		最終実績値	87.5%		

3. 特記事項（今後の方針等）	
令和2年度から令和6年度までの5年間の社会資本総合整備計画に基づく下水道事業を実施し、定量的指標について全ての目標を達成することができなかった。今後は、令和7年度に中央ポンプ場の長寿命化対策の改築更新事業が完了し、新たに北ポンプ場ストックマネジメント計画を令和7年度から実施するので、引続き施設機能の安定的確保に努めるとともに、雨水浸水対策を効率的に進めることによって災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいくこととする。	